

工事写真報告書

工事番号 平成 28 年度

工事名 I 様 邸

工事箇所 屋根・その他 塗装工事一式

工事住所 北九州市 小倉南区 中吉田

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観



外観



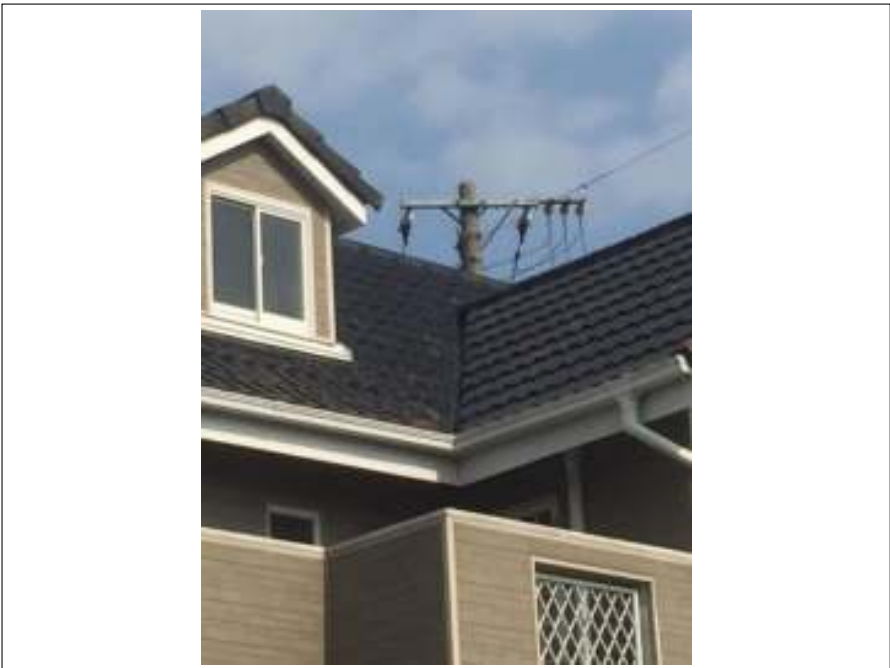
外観



外観



外観



屋根 谷板金部



屋根 洋風コンクート瓦

セメント：骨材=1：3（セメント瓦は1：2）で作られており、新築当時は基材・スラリー層・アクリル塗装からなっています。

この瓦の施工の際は脆弱なスラリー層を除去し塗装を行わないと、剥離を起こしてきますので、下地処理がかなり大事になります。



屋根 洋風コンクリート瓦

施工手順

高圧洗浄（2回）…脆弱なスラリー層の除去

その後下塗2回塗（屋根の下地再生補強）・中塗・上塗を行います。



屋根 洋風コンクリート瓦

同上



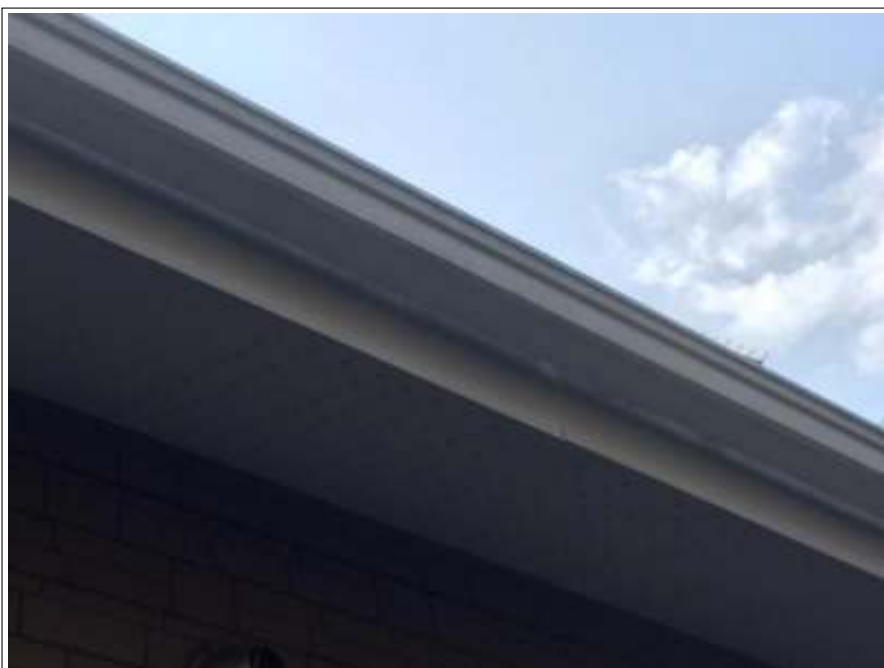
屋根 カビ・コケ・藻

高圧洗浄では完全に除去できずカビの上にくら良い塗装をしても、カビの根が残っている以上塗膜を突き破って表面化してきますので、カビ発生部はカビの根を殺す防カビ下塗をおこない、通常の工程で三層四工程をお勧め致します。



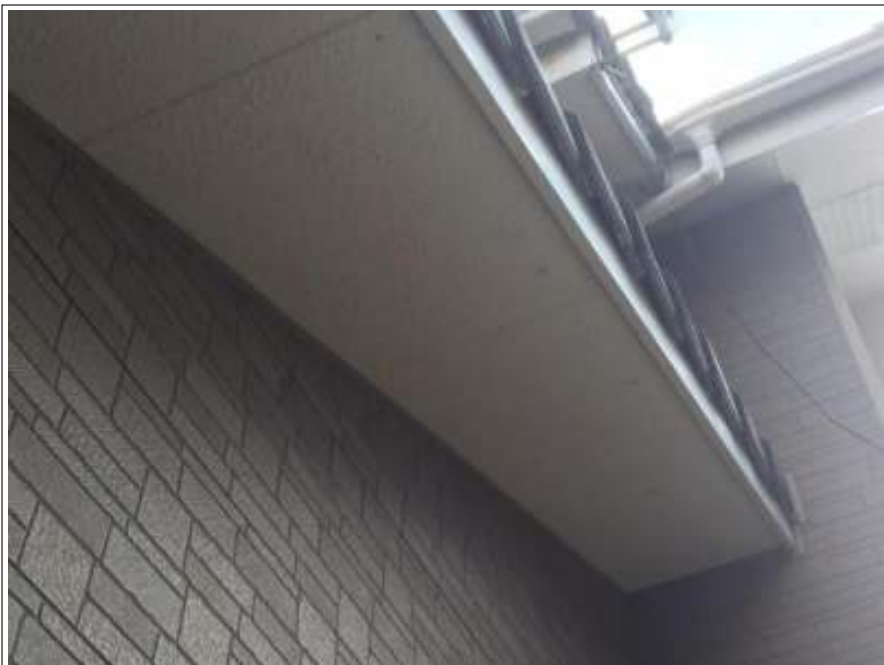
破風板

経年劣化しています。劣化すると腐食、お住まいの痛みにつながりますので、下塗り・上塗りをおこないます。



鼻隠し

同上



軒天

経年劣化しております。

この部分は通気性の良い軒天専用の
塗装をしていきます。



雨戸

この部分は鉄、スチール素材になり
ます。劣化するとサビが発生してき
ますので塗装が必要です。



戸袋

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をし
てもすぐにサビが表面化してきます
ので、ケレン作業・サビ止め等の下
地処理をおこない、塗装をしていく
必要があります。



小庇

同上



出窓天板

同上



樋



基礎 クラック部

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながります。



基礎 クラック部

同上

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

